

# 海蔵地区都市計画マスタープラン

## 3つの検討部会を設置しました



「海蔵地区都市計画マスタープラン」とは・・・  
地域住民が提案した「地区まちづくり構想」を基に、平成26年10月、  
海蔵地区へ四日市市から今後10年間の計画が示されました。

「海蔵地区都市計画マスタープラン」を受けて、平成27年1月に「海蔵地区都市マス委員会」が活動を開始しました。5月には3つの検討部会を設置し、四日市市・三重県の担当部局から現状の報告や現在の取り組みについて、それぞれ説明を聞きました。報告・説明の主な内容は次のとおりです。

### ①三滝川分派・関連河川整備検討部会

三重県において「水理模型実験解析（シミュレーション）」を行っています。  
その結果を受けて、関連河川（堀川・野田川）の安全性確保を含めて検討していきます。



←1/80縮尺の  
シミュレーションの様子

### ②西阿倉川変則交差点改良整備検討部会

当該交差点を渋滞箇所と認識しています。

現状を把握するため、交通量調査を行います。  
（平成27年10月実施）



### ③阿倉川駅・駅前整備検討部会

エレベータを3基設置し、駅のバリアフリー化を優先する事業を計画しています。

現在は、平成29年度の工事着工に向けて、関係行政機関等との調整を行っています。



今後も、海蔵地区のまちづくりに重要な上記3つの課題の整備実現に向けて、四日市市・三重県との意見交換を重ねて引き続き検討していきます。

海蔵地区都市マス委員会